

<第4574回>

目的地：大岩ヶ岳

担当者：大橋

実施日：2025年2月16日(日)

形式：日帰りハイキング

費用：¥1,360 (JR大阪駅起点)

参加者：12名

天気：曇り、ときどき晴れ

行程：

JR宝塚線道場駅(9:30)→千刈ダム(10:20)→大岩岳南ルート分岐(10:35)→大岩岳南西側ルート登り口(11:05)→(11:19)大岩ヶ岳[昼食](11:54)→(12:13)東大岩岳(12:15)→第一湿原北分岐(12:49)→P281.4(13:09)→風吹岩(13:22)→分岐(13:33)→(14:05)東山橋[お茶](14:30)→(14:52)JR宝塚線道場駅[解散]

感想：

夜中から降っていた雨は、自宅を出る直前に上がってくれたようですが、現地に向かう電車の窓から見る空には雨雲が広がっていて、どこかで降られないか心配でした。道場駅前の広場で簡単な挨拶をした後出発。ダムまではだらだらと舗装道路歩きです。コースの途中にトイレがないため、ダム手前にある市民トイレにも寄りました。この日はダムからの放水がなく、せっかくのダムはただ巨大な壁でした。ダムの前の橋を渡って少し川沿いに戻り、コンクリートの坂を進んで、フェンス沿いの急な石畳を登ると山道にはいります。しばらく進むとY字分岐があり、左へ進むと千刈水源周回路で、最後岩場を上り詰めるルートですが、今回は穏やかな右の大岩岳南ルートを進みました。大岩ヶ岳の山頂からは360度の展望があり、晴天というわけではないのに意外と遠くまで見渡せました。きれいなベンチも設置されていたので、ここでお昼休憩をすることにしました。大岩ヶ岳を出発すると、10分ほどで東大岩岳の分岐に到着です。東大岩岳へは、荷物を分岐にデポして希望者で登りました。山頂から見下ろせる千刈ダム湖がハートに見えると言われているピークです。実際は鳥に見えるという人や、うさぎに見えるという人など様々でした。私は蝶々に見えました。堪能した後分岐まで戻り、荷物を背負いなおして丸山湿原を目指します。丸山湿原内に入ると、木道も出てきました。湿原の周回路を離れ、さらに進むと、急に開けた裸地にでます。風吹岩です。ここからは新名神高速の高架橋まで見渡すことができます。風吹岩から滑りやすそうなザレ道をしばらく下った後は、似たような景色の似たようなおだやかな道が続いたせいか眠くなりそうでした。気づくと東山橋に到着。東山橋でティータイムをした後、反省会場所の相談などしつつ、舗装路を駅まで歩きました。

大岩ヶ岳は、以前は読図の練習によく使われる道迷いしやすい山でしたが、行くたびに道標やテープなどが増えています。山頂のベンチも新しく作り直されていましたし、1か月前の下見時に壊れていた橋も、例会当日、山頂で出会った男性が直してくださったそうです。ボランティアの方々などのおかげで、だれでも歩きやすい山になりつつあります。

微妙なお天気だったにもかかわらず、参加してくださった皆さん、ありがとうございました。